

所蔵品展 No.170

作品の「まわり」に目を向けてみたら／
コレクションでみるシュルレアリスム

Focus on the Paratext of Artworks / Surrealism in Japan: Works from the Collection

会期： 開催中 ～ 7/12(日)
休館日： 月曜日（祝日は開館）
開館時間： 9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
観覧料： 一般：210円（160円）／大学生：100円（80円）

※（ ）内は、20名以上の団体料金。

※18歳以下の方は観覧料が無料。下関市と北九州市在住の方で、65歳以上の方は半額免除。（いずれも公的証明書の提示が必要）

● 作品の「まわり」に目を向けてみたら

美術作品の来歴や修復歴、額装や表装、作品の裏側など、作品の「まわり」に注目。
狩野芳崖、岸田劉生らの作品15点で、コレクションの新たな魅力を紹介します。

● コレクションでみるシュルレアリスム

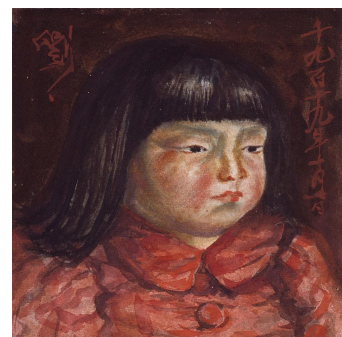
夢や無意識の領域、偶然性などを表現に取り込み、20世紀前半の有力な芸術運動となったシュルレアリスム。本来の文脈から切り離されたもの同士を出合わせて思いがけないイメージを得る手法や、自動記述などにより、表現の可能性を広げました。
桂ゆき、瑛九、植木茂らのシュルレアリスムの特徴を示す作品や、下関市豊浦町出身の堀晃、早稲高校の教員であった矢部桂一郎などの創作を紹介します。
不思議でちょっと不気味、でもとても魅力的な超現実（シュルレアール）の世界をのぞいてみましょう。

● SNSで動画を公開中！

美術館公式SNSで、展覧会場のようすなどを随時発信しています。
ぜひご覧ください。

所蔵品展No.170の会場風景等を動画で公開中！

YouTubeは、
右の二次元コードよりご覧ください。



岸田劉生《外套の麗子》1919年



堀晃《鳥への儀式》1981年



▲作品のまわり



▲シュルレアリスム

下関市立美術館

Shimonoseki City Art Museum

（担当）所蔵品展170：渡邊、片岡

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町1-1

TEL：083-245-4131 FAX：083-245-6768

Mail：kibijuts@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

HP：https://www.city.shimonoseki.lg.jp/site/art/